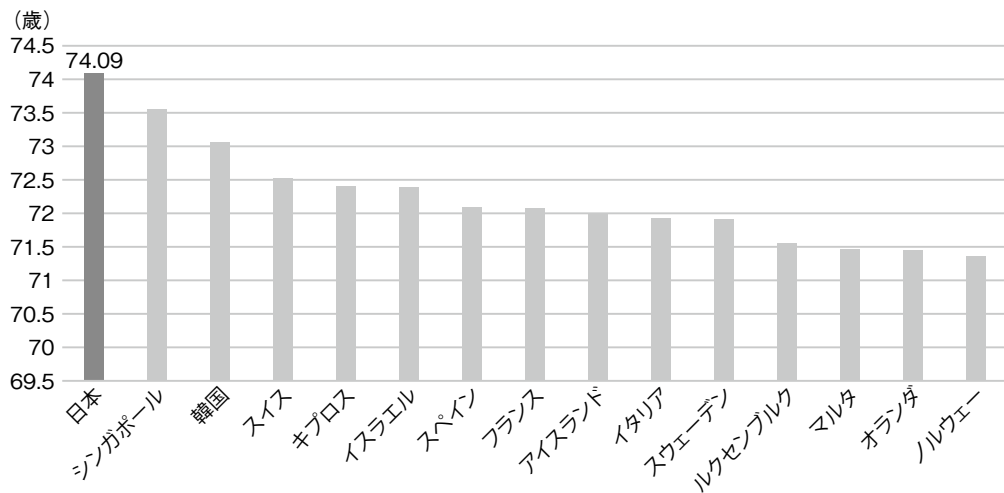


健康寿命トップ 15 カ国 (WHO 調べ)



自立して健康に生活ができる期間を示す健康寿命。WHO が加盟 194 の国と地域を対象とした調査 (2019 年時点) では、健康寿命が最も長い国は日本で 74.09 歳だった。次いで、シンガポール、韓国が続く。上位はアジアとヨーロッパ諸国が占める結果となった。男女別でも日本は 1 位で、男性 72.64 歳、女性 75.48 歳だった。他国と比べても、日本の平均健康寿命が頭一つ抜き出ていることがわかる。健康寿命と平均寿命の差をいかに小さくしていくかが課題となってくる。ちなみに、表に現れていない先進国のうち、ドイツは 70.89 歳で 23 位、英国は 70.13 歳で 28 位、米国は 66.12 歳で 67 位であった。また中国は 68.53 歳で 42 位である。

WHO 「World Health Statics」より作表